



大学生などのグループがインターネットでアンケート調査をしたところ、日本では、20%の人が「過去1年間に経済的な理由で生理用品を買うのに苦労したことがある」、さらに6%の人が「買えなかったことがある」と回答しました。そして37%の人が「生理用品を交換する頻度を減らしたことがある」、27%の人が「トイレトペーパーなどで代用したことがある」と回答しています。

岐阜県は、女性を応援するポータルサイト「ぎふジョ！」を開設しています。 <https://gifujo.pref.gifu.lg.jp/>

ぎふジョ！



web サイト



facebook



twitter

〒500-8384
岐阜市藪田南 5-14-12 シンクタンク庁舎 3F
TEL 058-275-9739
FAX 058-275-9738
URL <http://www.gifu-npocenter.org/>
E-mail npo@gifu-npocenter.org

特定非営利活動法人

ぎふNPOセンター



女性のつながり サポート支援事業について

実施期間：2022年4月～2023年3月

コロナ禍の影響で、生理用品の購入に困っている方が増えています。そこで、岐阜県では緊急的な支援として**生理用品の配布**を行っています。また、経済的困難やさまざまな不安を抱える女性に対して、**訪問支援**や**居場所の提供**を行っています。お気軽にご連絡ください。

生理用品の配布、**訪問支援**および**居場所の提供**は、協力団体が実施します。詳細は以下のサイト等で順次お伝えしていきます。

「ぎふNPOセンターつながりサポート事業」特設サイト
<http://gifu-npocenter.org/tsunagari/>



ぎふNPOセンターにて**相談窓口**（毎週水・土 14:00～16:00）を開設しています。下記までご連絡ください。

場 所：ぎふNPOセンター

岐阜市藪田南 5-14-12

シンクタンク庁舎 3F

T E L：058-275-9739

メール：tsunagari@gifu-npocenter.org

（電話またはメールにて連絡をしてからご訪問ください）



この取り組みは、岐阜県の委託を受けてNPO法人ぎふNPOセンターおよび協力団体が行っています。

この取り組みでは、コロナ禍で社会との絆・つながりが薄くなり、不安を感じている女性に対して、自宅にうかがい相談する**訪問支援**や、誰もが気軽に訪れることができる**居場所の提供**を行っています。

生理用品の配布

生理用品をお渡しすると同時にさまざまな相談にのります。

訪問支援

経済的困難やさまざまな不安を抱える女性のもとに訪問し、お話をうかがい、その方に合った支援につながるようサポートしていきます。複数回訪問することも可能です。

たとえば、

- ・子育てやパートナーとの関係、DVなどの家庭の悩み
- ・友だちづきあいや職場での人間関係についての悩み
- ・仕事についての悩み

など、なんでも気軽にご相談ください。

何度も利用者さん宅を訪問することで、状況がわかり、お互いに信頼感ができ、そこから必要な支援を探るきっかけとなり、生活支援が始まっていきます。



NPO スタッフ

居場所の提供

生活や子育ての悩みを持つ女性が集まる場所を提供しています。お互いの悩みごとを共有し、話しあっていくことで不安の解消につながっています。サロンのように複数の人が集まる場合もありますが、ふらっと来た人に対して居場所のスタッフが相談にのることもあります。



岐阜県 女性のつながりサポート事業（訪問支援、居場所の提供）は、岐阜県と NPO 法人ぎふ NPO センター、そして以下の NPO 団体のみなさんが協力しながら進めていきます。

女性支援
NPO

貧困支援
NPO

ひとり親
支援
NPO

子育て支援
NPO

DV 被害者
支援
NPO

教育関係
支援
NPO

「相談してよかった」と利用者の方に言ってもらえるように、日々寄り添う支援を心がけています。「訪問支援」や「居場所」を通して、気軽に相談してもらい、利用者の方に少しでも笑顔になってほしいと願う毎日です。